

3年保育3歳児 もも組指導案

平成25年10月8日（火）

3歳児もも組 計21名

担任 江尻 恵子

保育補助 阿部 真秀

1 学級の実態（9月中旬）

（◎体を動かすことへの取組 ○遊び ●人との関わり ☆生活 □学級で取り組む活動）

◎戸外では、ほとんどの幼児が、巧技台（1本橋、2本橋、はしご、ジャンプ台）や固定遊具（鉄棒、登り棒、アスレチック、小山など）を進んでやろうとしたり、できることを教師に見てもらいたがったりする姿が見られる。中には、興味を示さずに他の遊びを好む幼児もいる。

◎教師との鬼ごっこ（むっくりくまさん、わにさん、トントントン何の音？など）では、追いかけてもらうことを喜び、少しずつ逃げるだけではなく、教師や友達を追いかけることも楽しむようになってきている。

◎いろいろなリズムダンスの動きを真似ながら、体を動かすことを楽しんでいる中で、音楽に合わせて自分なりに動くことを楽しんだり、教師や友達の動きを見ていたりする幼児も見られる。

◎かけっこに喜んで参加し、繰り返して遊ぶ姿が見られる。

○●好きな遊びでは、お家ごっこやショー・パレードやいろいろなキャラクターになりきって動いたり、ブロックやウレタン積み木を使って見立てたりするなど、自分から遊びを見つけて楽しんでいる。

●好きな友達ができ、「遊ぼう」「～しよう」と言って、関わりながら遊んだり、遊んでいる場から自然と関わったりする姿が見られるようになってきている。

●2学期から、担任が交代したことに、抵抗を示す幼児は見られず、やりたいこと、思ったこと、困ったことなど、自分の思いをよく表している。まだ、友達よりも教師との関わりを好み、安定する幼児もいる。

●物の取り合いでトラブルになることが多い。教師が介入することで、自分の思いを表し、納得や解決の方向に気持ちが向くが、口調が強くなったり、手が出たり、引かずにやり合うようになってきている。また、やられても、我慢する姿も見られる。

☆夏休み明けの生活が少しずつ戻り始め、所持品の始末や身支度など、自分のことは自分でしようとしている。個人差が大きく、取りかかるまでに時間がかかったり、マイペースで動いたりする幼児が多いため、手助けをしながら一緒に行っている。

☆●遊具をたくさん使って好きな遊びを楽しむ中で、使いこなさずに出したままになっていることが多い。しかし、自分が遊んでいなかった物や場所も片付けようとしたり、友達と協力して片付けたりしている。

□●表現遊びや触れ合い遊びの中で、自分なりに楽しんだり、いろいろな友達との触れ合いを楽しんだりする姿が見られる。

2 学年の重点 (_____は体を動かすことへの取組に関する内容)

- 自分でできることは、自分でしようとする。
- 教師や友達と遊ぶことの楽しさを味わう。
- 園生活で安心して自分の思いを出せる。

3 学級の重点

- 教師や友達とあいさつをする。
- 基本的な生活習慣を身に付け、身の回りのことを自分でしようという気持ちをもつ。
- 教師や気に入った友達と一緒に過ごすことを楽しむ。
- 自分の思いを教師や友達に言葉や動きで表現しようとする。

4 期のねらい (3歳児 III期 9月上旬～10月中旬)

- 幼稚園での過ごし方を思い出しながら、自分でできることは自分でしようとする。
- 面白そうな物や友達の動きに関わり、遊びの楽しさを感じるようになる。
- みんなと同じ場であることを楽しむ。

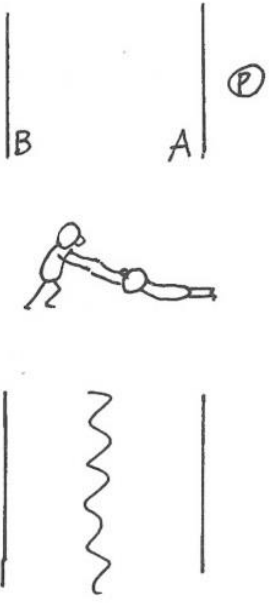
5 本時のねらい

- ごっこ遊びを通して、体を動かすことを楽しむ。
- いろいろなイメージの中で、跳ぶ、這う、友達と連結して歩くなどのいろいろな動きを自分なりにやってみようとする。

6 展開 もも組保育室 (12:30～12:45～)

ねらい達成のための教師の援助

時間	幼児の活動	指導内容	教師の援助
12:10	○片付ける	・これからすることに期待をもちながら片付けをする	・次の活動に期待がもてるように、一緒に片付けながら認める。
12:27	○リズム「スイッチポン」を踊る	・テンポアップしていく音楽に合わせて、いろいろな動きをする	・活動に必要なスペースを確保する。 ・いろいろな動きを分かりやすく示しながら、楽しめる見本となる。
12:30	○電車ごっこ	・電車遊びをする ① 一人の電車 ② 友達と連結 ③ 先頭交代 ④ ストップ ↓ ⑤ 連結したまま、後ろドア→廊下→前ドア	・ぶつからないよう声をかける。 ・仲良し列車とし、子ども同士が好きな友達と連結できるように、見守ったり誘導したりする。 ・友達の肩に手をかける連結なので、強く握ったりすぐに放したりする幼児には、加減ができるように援助する。 ・安全運転で、ゆっくり移動するよう伝える。

12:33	○動物村で動物ごっこ	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の表現遊びをする ① うさぎ ② くま ③ わに ↓ ④ 友達と連結して、後ろドア→廊下→前ドア 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物のイメージがもてるように投げかけながら、個々のイメージの動きを認める。 ・友達の動きをピックアップする。 ・一緒に動きを楽しんだりピアノで雰囲気作りをしたりする。
12:38	○忍者村で修行ごっこ 	<ul style="list-style-type: none"> ・半分 A・B に分かれて待機し、簡単な運動遊びをする ※AB 交代して行う ① 赤ちゃん (A はいはいして B にタッチして戻る) ② 赤ちゃん (A はいはいして中央で腹ばいになり、B が引きずりにいく A スキップやギャロップで戻る) ③ お兄さんお姉さん (長縄の蛇や波を跳び越す) ↓ ↓ ④ 全員で連結して、後ろドア→廊下→前ドア 	<ul style="list-style-type: none"> ・BGM(CD)で忍者村の雰囲気を作る。 ・A・B 半分に分かれるように誘導する。 ・見本を見せながら楽しく進行していく。 ・動きを見届けながら、援助が必要な場合は、動きの手助けをする。 ・ペアの状態や引き方に留意し、手助けをする。 ・跳びやすいように、縄の動かし方を工夫する。 ・危険のないように、A・B 順に行うようにする。 ・全員が連結しているかを確認して、安全運転で、ゆっくり進むよう伝える。
12:45	○露天風呂ごっこ ※幼児の状況と天気により、外遊び(道路)を取り入れる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ウレタン積み木(□)を一つずつ持ち、円型に座る ・体を洗う、バタ足をする、泳ぐなどの動きをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ずつ誘導する。 ・体の部位を示しながら、いろいろな動きが楽しめるようにする。 ・ウレタン積み木から転倒しないように、座り方に留意する。 ・一人ずつコミュニケーションを図る。
13:00	○休憩・お茶飲み	<ul style="list-style-type: none"> ・コップを出し、ウレタン積み木のところでお茶を飲む ・手拭きタオルをキャッチしてからたたむ ・トイレへ行く 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをする中で、幼児の言動を受け止めたり、認めたりして、みんなで遊ぶことへの期待がもてるようにする。 ・タオルが受け取りやすいように投げる。
13:20	○排泄 ○身支度をする ・コップ、タオルをしまう		<ul style="list-style-type: none"> ・時間差が生じすぎないように一斉にトイレへ行くようにする。 ・自分のことは自分で行っている姿を認

13:30 13:45 14:00	・園服を着る ○集まる ・歌 ・手遊び・絵本 ○降園準備 ○降園する		め、園服のボタンや所持品などの確認をする。 ・落ち着いて降園できるようにする。
-------------------------	------------------------------------------------	--	--------------------------------------------

7 評価

○ごっこ遊びを通して、自分から体を動かすことを楽しんでいたか。

○跳ぶ、這う、友達と連結して歩くなど、いろいろな動きを自分なりにやってみようとしていたか。